

OMNI USB の導入(2) (HP 収載)

—デモ機によるテスト(1)—

1. 始めに

LAN 経路の光アイソレーションの効果が大きかったので、USB 経路の光アイソレーションにも興味が湧いてきました。この USB 経路の光アイソレーションに適用できる OMNI USB の導入の検討に際し、まずはデモ機を借用してテストしてみることにしました。

2. OMNI USB の試聴方法

OMNI USB の紹介は、以下に公開されています。

<https://silentpower.jp/omni-usb/>

OMNI USB のマニュアルは以下に公開されています。

https://silentpower.jp/wp-content/uploads/2025/08/OMNI-USB-User-Manual_Ver0.2.6_JPN_01.pdf

同梱されているのはクイックスタートの接続図だけですので、複雑な構成と多彩な機能を理解するにはマニュアルを子細に点検しなければなりません。

テストする対象として PC→Brooklyn DAC +の USB 経路とし、OMNI USB を介在させますので、下図の Source Device は PC ということになります。

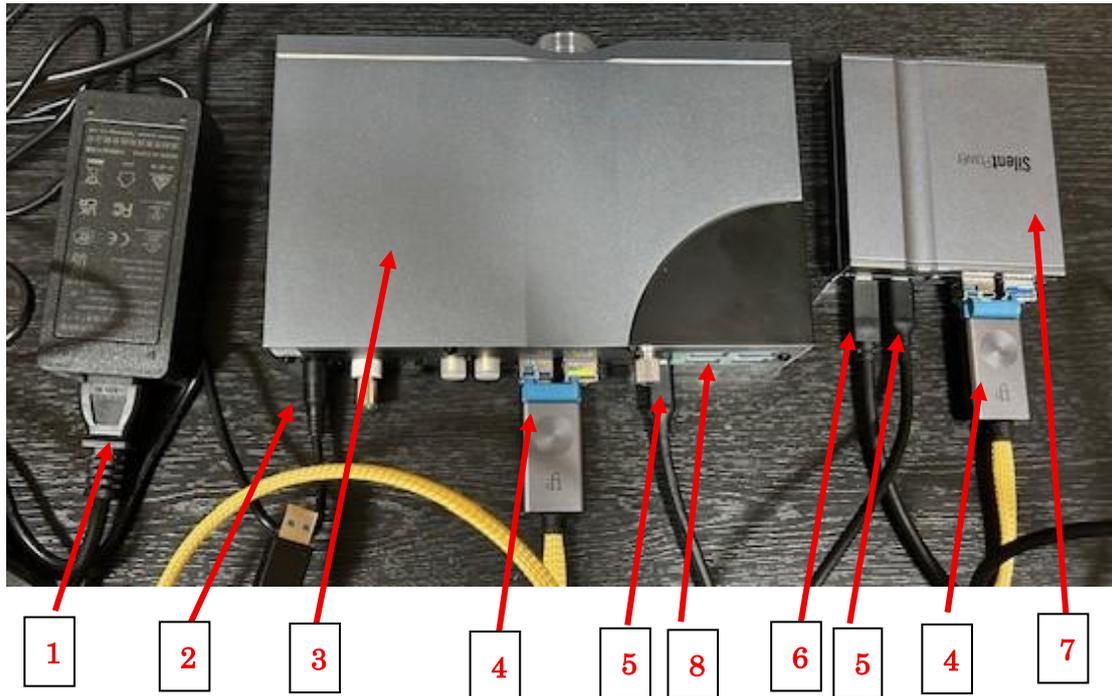


マニュアルに従って結線を行いますが、PC→Brooklyn DAC +間は USB リバレンテと USB アキュライザーが介在していますので、これらも使用します。

また、Brooklyn DAC +のバックアップとして城下工業の SWD-20 も準備しておきます。

音源は、STAGE+の配信音源を試聴し、OMNI USB の介在あるなしで比較していきます。

結線はマニュアルを見ながら下図のとおり確認してから実際の設置にかかりました。



- 1 : 15V 電源アダプター
- 2 : 15V 電源アダプターからの DC 電源ケーブル接続
- 3 : OMNI USB 本体
- 4 : SFP LC ファイバー 10G モジュールおよび SFP LC ファイバー 1.25G モジュールに LC ファイバーケーブル (1m)で光接続
- 5 : USB-C to USB-C ケーブル (1m)で OMNI USB から USB OptiLink に電源供給
- 6 : USB-A to USB-C ケーブル (1.5m)接続で USB トランスポートから USB 入力
- 7 : USB OptiLink
- 8 : 現有の USB ケーブルの USB リベラメンテと USB アクライザーを OMNI USB USB3 の A 端子接続として USB DAC への USB 出力

3. OMNI USB の試聴結果

上記の接続後再生しようとしたのですが、OMNI USB の Status 表示に **Battery Error** と表示されて再生できません。OMNI USB の **Battery Error** で検索すると、どうやら **Battery** の充電が必要なようで、しばらく電源をつないだままにしておきましたが、解決せず、ネット検索では、似たようなトラブルが散見され、いったん返却しました。



その後、再度デモ機が送られてきましたので試聴しました。

PC 経由の再生は下記の経路で STAGE+の配信を試聴します。

ルーター→スイッチングハブ→PC→【USB OptiLink】→【OMNI USB】→
Brooklyn DAC+ (or SWD-DA20)

試聴音源は下記のとおりです。

J.S.バッハ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ集
ルノー・カプソン (ヴァイオリン)

ゲオルク・ショルティ・アカデミア創立 20 周年ガラコンサート

ジュゼッペ・ヴェルディ 《椿姫》より〈乾杯の歌〉

ソリスト:

ヘラ・イエサン・パク (ソプラノ)、フレディ・デ・トマーゾ (テノール)、アイダ
ル・アクメチーナ (メゾソプラノ)、ポール・グラント (バリトン)

演奏:

ペーテル・ハラース指揮ハンガリー国立歌劇場管弦楽団

まずは、OMNI USB の介在なしで聴いておき、OMNI USB のシステムを上記のとおり接続して、OMNI USB の電源 ON で、この前のような電源エラー表示はなく、正常に動作しているようです。

PC から上記の音源を送り込みますと、PC の再生は通常通りで、OMNI USB の画面では、音源の再生に対応した表示が出ていますが、Brooklyn DAC+の認識がなされていないようで、音がでません。OMNI USB の介在なしにしますと、正常に音がでます。



入力もしくは出力レベルの推移

問題点として、電源 ON の順序、Brooklyn DAC+への ABS-7777 からのクロック入力、USB ラインへの USB アクライザーの介在などが考えられますが、まずは、電源 ON の条件を探ってみました。

先に PC の電源を入れますと USB OptiLink を認識しているようです。そこで OMNI USB 本体の電源を入れ、最後に Brooklyn DAC+の電源を入れてみました。

すると正常な音出しができ、OMNI USB 介在なしより音質が向上しているようです。



いったん音出しができると、ベルリンフィルデジタルコンサートからの配信も問題なく再生できました。

さらに Brooklyn DAC+をバックアップの SWD-DA20 に替えますと、これもすんなり正常な再生になり、音質も上々のようです。

以上から、いったんは OMNI USB の USB 出力と Brooklyn DAC+の USB 入力の相性もあるかもしれないとの疑問を持ちましたが、そうでなく 電源を入れる順序が問題のようで、こういった情報は公開されていないようです。

ネット上でもユーザーから OMNI USB の USB 出力の音出しができず、後に解決したとのコメントがありました。

4. まとめ

電源関係のトラブルは代替え機で解消し、DAC から音が出ない問題は、どうやら電源を入れる順序が問題のようです。なんとか音出しができましたので、音質評価の詳細は機会をみて考えます。

なお、同梱品にはマニュアルがなく、ダウンロードして子細に点検しないと接続も困難であり、マニュアルにもトラブル処理の記載はなく、代理店のエミライは電話も公開していないのでトラブル処理などサポート体制は十分とは言えません。このため本製品の使いこなすには、ユーザーサイドの知識と経験と忍耐を要します。

以上